



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

令和元年

園長 宮竹 恒

桜の花が散り、新緑と共に新しい時代の幕開けを感じる季節となりました。

学園においては、新しい職員を迎え、職員一同心機一転の思いで新年度をスタートしました。

さて、平成から令和に変わる節目の時、あらためて「子どもの最善の利益」とは何であろうかと考えることがよくあります。

時代と共に子どもたちが必要とすることも変わっているように思えます。遊び方や食生活の変化、コミュニケーションの方法（スマートフォン、パソコン等の利用）や情報収集の方法の変化に伴い、子どもたちが必要とする「物」は確かに変わってきています。

しかし、本当に子どもたちが必要としているのは、「愛情」であったり、「優しさ」であったり、目に見えないものであると思います。

また、「より良い教育」や「より良い人間関係」であろうと思います。そして、「成長したい」「自分を認めてもらいたい」という気持ちを持っています。その一つ一つが子どもの持つ権利でもあります。

子どもたちは、非常に敏感に他人から自分がどのように思われているか感じとります。

言葉にできるか、出来ないかは子どもによって違いますが、何らかの表現でメッセージ

を発しています。子ども達のメッセージを受け取り、一緒に考え、子どもたちの希望を実現していくことが児童福祉に関わる者の使命であると思います。

今年度、子どもたちが必要としていることを考え、以下の3点を重点課題に事業計画を進めていきたいと思ひます。

- ①子どもにより良い学習環境を提供する為に、再来年度を目標に小学校・中学校の分校化を推進します。
- ②時代の要請に合わせ、高校生の受け入れを積極的に行います。
- ③子どもの個性を理解し、子どもの特性に応じた治療を行います。必要に応じて外部の専門家の協力を得ることで治療の充実を図ります。

—了—

在籍人数

平成31年5月1日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	4	0	4
	中学生	4	0	4
	計	8	0	8
女 子	小学生	1	0	1
	中学生	3	1	4
	計	4	1	5
合計		12	1	13

青峰・若竹学級だより 4月

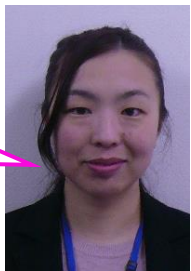
本年度は、青峰学級（中学生）8名、若竹学級（小学生）5名、学校職員5名の計18名でスタートしました。「挑戦、失敗を恐れず何度でも挑戦」をスローガンに一丸で教育活動を行っていきます。

職員紹介 今年度の職員です。よろしくお願いします。

おかもとかつひこ
岡本勝彦
中学校 理科



いしいちひろ
石井千尋
小学校



おおえよしえ
大恵淑恵
支援員



おのこうじ
尾野弘司
中学校 社会



ふくだけいたろう
福田啓太郎
小学校

始業式・入学式
4月8日に始業式、10日は青峰学級の入学式が行われました。入学式では、2名の生徒が青峰学級に入学しました。在校生も新入生も、きちんとした態度で式に臨め、とても素晴らしい式になりました。



スポーツテスト
16日には生島の県営野球場横の広場で50m走とハンドボール投げ、19日には亀水体育館でシャトルランと反復横跳びを実施しました。どの児童・生徒も昨年度より記録を伸ばせました。





3月31日、紫雲ふれ愛ウォークがありました。

桜の花が綺麗な山道を、一般参加者の皆さんと一緒に歩きました。途中、いくつか古墳に立ち寄ったり、歴史の話も聞いたりもしました。思ったよりも長い道のりで、疲れたと



言いつつも、子ども達は途中離脱することなく完歩できました。

たくさん歩いて頑張った後は、おにぎりや豚汁を食べました。頑張った分、美味しさもひとしおだったようで、みんな幸せそうに顔をほころばせていました。



BBQ【初めまして】

若竹学園でも花見を実施しました。4月1日に入里及び異動して来た職員も一緒になって子供たちと学園職員でBBQを行いました。

子ども達は着火剤を使用してもなかなか火が付かず



煙たいのを我慢して火熾しを頑張っていました。

その間に女子は食材の準備と焼きそば作り。男子が野菜とお肉を焼いていると急に雨が降り出し残りのお肉は女子がホットプレートで焼きました。



それぞれ好きな飲み物を注いだコップを掲げ乾杯。沢山食べて、沢山お話ができて楽しい時間を過ごす事が出来ました。



88kmリレーマラソン

4月14日にまんのう公園で開催された『しこく88kmリレーマラソン』の21km一般部門に参加してきました。練習不足かなと感じていましたが、本番では力を発揮して21km一般部門で2位になることができました。参加した子どもは3人だけでしたが、絶対にゴールするぞという気持ちがあったので素晴らしい成績を収めることができたのだと思います。今後も練習を重ねて来年も参加したいと思います。



人事異動

児童指導員 岡田 有梨

4月からなごみハウス園より異動になりました岡田です。なごみハウスに異動する前は若竹学園でお世話になっていました。3年ぶりの若竹学園では、建物も体制も新しくなり戸惑う事もありますが、なごみハウス園で経験したこと学んだ事を活かして、子ども達の支援を行いたいです。



セラピスト補助 竹下 茂宏

2019年度よりセラピスト補助として勤務しています。昨年度までは大学院に通っており、今年度が社会人1年目となります。まだまだ経験も少なく未熟ではありますが、子ども達とともに成長していくことを目標として、日々頑張っていきたいと思いを。また子ども達と話しをしたり、遊んだりするなかで楽しい経験も子ども達と共有していきたいなと思いを。よろしくお願いをいたします。



児童指導員 善生和宜

2019年度より児童指導員として勤務しています。昨年度までは、中学校の技術・家庭科の先生でした。新しい職場で不安も多いですが、これから、みなさんとともに一つずつ確実にできることを増やしたいと思いを。そして、自信をつけていきたいと思いを。みなさんとともに自分の成長を実感できる1年間にしたいです。よろしくお願いをいたします。



永年表彰

家庭支援専門相談員 植松圭吾

子どもが好きで入った福祉の世界。振り返ると、子ども達に日々何が出来るのだろうと考え、答えを探しながらの毎日だったように思いを。若竹学園の建物が新しく増築されたり、先生方や子ども達との別れや出会いを経験しながら、自分自身たくさんの事を学ばせてもらいました。節目を感じながらも、感謝の気持ちを忘れずに、これからも子ども支援に励んでいきたいと思いを。



4月行事

8日	始業式
10日	入学式
13日 27日	図書館学習
18日	買物学習



編集後記 子ども達は、出会いと別れを経験しながら必ず自分自身の成長に気づきます。卒園した園生のさらなる活躍も期待しています。
植松 圭吾

第302発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
ホームページ <http://4on.or.jp>
Eメール wakatake@4on.or.jp
編集兼発行者 若竹学園 編集委員
発行責任者 宮竹 恒